

ほとんど知らない オーケストラの話



(第11回)

アンコールは青ダニ

東京フィルハーモニー交響楽団
専務理事・楽団長

石丸 恭一

おはようございます、は朝の挨拶。こんにちは、は昼の挨拶。こんばんは、は夜の挨拶。これは普通の挨拶ですが舞台や芸能会、オーケストラなどの世界では「おはようございます」と「お疲れ様でした」の二つしか有りません。この業界は始業と終業の時間が一定していませんので、始業が朝の時も昼の時も夜の時もあります。また人によっても違います。そこで「おはようございます」とは“私は今参りました（来た時の挨拶）”、という意味で、「おつかれさまでした」とは“私は終わりましたので帰ります（帰りの挨拶）”、と言う意味なのです。これによって、この人は今来たのだな、この人は今帰るのだな、と言う事が時間に関係なく解る訳です。

皆様がたまたまオーケストラのメンバーに夜お会いになって「おはようございます」と言われて「この人ちょっと変なのでは」、とか、歓談後「お疲れ様でした」と言われて、「疲れたのか」、などと思わないでください。たまたま日常の癖が出ただけなのであります。

各種の業界に略語は付き物ですが、オーケストラの曲名の略語をご紹介します。例えば「第九」の正式名称は（ベートーヴェン作曲交響曲第9番

ニ短調作品125）という具合です。有名なところですがいくつか正解出来るでしょうか。①ベトヒチ。②ドボコン。③アイネク。④ゲンセレ。⑤ドロカサ。⑥ベトコン。⑦メンコン。⑧青ダニ。⑨床屋。⑩ドボハチ。

【回答】①ベートーヴェン作曲「交響曲第7番イ調」②ドヴォルザーク作曲「チェロ協奏曲ロ短調」③モーツァルト作曲「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」④チャイコフスキー作曲「弦楽セレナードハ長調」⑤ロッシェニ作曲「泥棒かささぎ」⑥ベートーヴェン作曲「ヴァイオリン協奏曲ニ長調」⑦メンデルスゾーン作曲「ヴァイオリン協奏曲ホ短調」⑧ヨハン・シュトラウス2世「美しき青きドナウ」⑨ロッシェニ作曲「歌劇「セビリアの理髪師」序曲」⑩ドヴォルザーク作曲「交響曲第8番ト長調」 幾つ正解でしたか？

と言う訳で、舞台上では『今日の演奏曲順は、ドロカサ、ベトコン、ベトハチ、アンコールは青ダニです』『アンコールの予備はデンデンムシとチャンチャラです』と言っているのです

チャンチャラはビゼー作曲「カルメン行進曲」。デンデンムシはベートーベン作曲「英雄の四楽章」です。